

実施内容

日常英会話、自然科学に関連する語学力、 プレゼン技術の向上を目標とした講義、 ラボツアー、現地学生との交流、 ホームステイ、アデレード観光など

日程

出発:2025年8月23日(土) 帰国:2025年9月28日(土)

対象

理学部生(他学部生応相談) 募集人数:20名程度

費用

85万円程度

(渡航費・授業料・ホームステイ代等) ※為替相場等によって変動する可能性があります。

最大42万円の補助金あり※予定

- ・規定・人数制限あり ・併給不可
- ・支給額は採用された奨学金により異なります

説明会

各日 12:15~ (約60分)

4月14日(月)

全学教育推進機構

DAICEL Studio (Studio A)

必見!アデレード大学の英語センターの担当者 が来られて説明いただく予定です!

4月16日(水)

オンライン(Zoom) 先輩の経験談あり!

4月22日(火)

オンライン(Zoom)

先輩の経験談あり!

要事前申込

お申し込みはこちらから→ (各日程2日前まで)



※説明会の内容は一部、変更する可能性があります

参加者の声(2024年度までオーストラリア・マッコーリー大学) ※プログラム内容について大きな変更はございません。



以前から海外留学に興味があり、英語でプレゼンをする能力が自分に必要だと 思っていたので参加しました。実際の研修では、日本では少ないスピーキングを メインとした授業を受けながら、同時に科学的なトピックについてのプレゼンを チームで作り上げました。このプログラムは単なる語学研修ではなく、科学にお いて重要な「伝える」能力を英語でも磨くことができた貴重な機会になりました。 自分がこの先どのような進路に進もうと人に何かを伝える場面はあると思うので、 そこでこの研修で学んだことを活かしたいです。また、やはり海外には実際に触れてみないと分からないことが多くあるということも学んだので、何に関しても 自分の目で見て知ることを心がけたいです。(数学科・3年)

私は今回の海外研修で日常では得られない経験をたくさんさせていただきま した。私は今回の研修の中で、英語能力を向上させたことはもちろんですが 英語でのプレゼンテーションを習得したり、ホームステイをすることによっ て異なった価値観や文化に触れることができました。ホストファミリーとは 帰国した今でもラインをするなど交流を続けています。この研修を通じて オーストラリア人や現地の留学生などさまざまな人と交流することができて 英語を使うことが楽しくなりました。怖いという感情もあるかもしれません がぜひチャレンジしてみてください! (化学科・2年)

行きの飛行機で見ていた料理番組を帰りの飛行機でも見ると、行くときは感 じなかったイギリス英語とか東南アジア訛りとかを感じて、だいぶ英語を聞 き慣れたなと実感した。行く前はネイティブみたいに喋れるに越したことは ないと思っていたけれど、日本語訛りの英語でも全然良いと分かった。毎週 末 出かけるという、日本にいたら絶対にやらない休日の過ごし方ができた。 阪大の理学部の先輩方が思っていたより勉強を頑張っていて優秀な人たちで、 それを見ていると勉強のモチベーションが上がった。TOEICも留学前後で195 点上がり成長を感じました。(化学科・1年)





※参加者の所属・学年は研修時点のものです。

さらに詳しく知りたい方は理学部HPへ

アデレード大学

アデレード大学は1874年に設立された、オース トラリアで3番目に古い総合大学です。オースト ラリア出身のノーベル賞受賞者のうち、約3分の 1にあたる5名がアデレード大学出身であること、 また、学生の約45%が留学生で構成されている ことから、国際的にも評価の高い大学です。 加えて、アデレードはオーストラリアの中でも、 また世界で最も住みやすい都市とも評価されて います。



申込期限 ※予定

①フクシマグローバル奨学金申請希望者 4月28日(月

②①以外の参加希望者

たくさんのご応募 お待ちしております!



Study Tour Program in Adelaide University

募集要項等、詳細はこちら→ 理学研究科·理学部HP



問合せ先:

理学研究科大学院係(理学部A棟1階 A111) Email: ri-daigakuin@office.osaka-u.ac.jp

TEL: 06-6850-6778